

**令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「マダバ生産キッチン」設立のための調理機材整備計画」
機材供与式典**

2024年5月29日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「マダバ生産キッチン」設立のための調理機材整備計画」の機材供与式典が実施され、奥山駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、2015年にマダバ市役所が策定した「地域経済開発戦略計画（2019年～2021年）」の中の重点事業の一つである、労働市場における女性躍進を実現するための計画、「マダバ生産キッチン」設立のために調理機材を整備し、マダバ市に住む貧困層の女性が販売用の食事を作りながら、販売用食品調理技術などの就業スキルを習得することにより、女性の社会進出の促進を目的としています。

同式典には、市役所職員・関係者のほか、アーリフ・アッラワジーフ・マダバ市市長らが出席され、アッラワジーフ市長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。奥山大使からは、失業率と貧困率が高いマダバ市において、雇用機会が著しく制限されている女性への支援は喫緊の課題であり、本支援がマダバ市に住む女性たちの生活環境の改善と経済的自立に資することを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計159件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

